

木版画の指導 人物編



投稿者の先生：高本 英樹

▶小学校 ▶5年 ▶図工 ▶4.版画

URL: <https://foresta.education/estanet/essence/detail/16164>

説明

題材選びは子どもが実際に活動した場面を写真に撮っておいて、思い出に残っているものを選ばせる。

手の動きがあるもので、人物や風景との重なりがある方が5年生らしい。
アップとワイドの学習をさせ、伝えたいことがよく分かるように人物を大きく描く。

特に顔と手は実際の比率と違ってもいいから大きく描く。

背景は人物が目立たなくなってしまうといけないので、シンプルに。

彫る前に版木に墨を塗り、彫って白くするところにホワイトのコンテで色をつけておく。

皮膚は自分の顔や手を触って同じラインで彫るようにする。

例：ほっぺは丸く。鼻は高くなるように両サイドから中央に。あごは弧を描くように。

光が当たっているところだけを彫る。

7（黒）：3（白）になるように。

服のしわを直接彫らない。（光が当たっているところを彫るから当然、陰ができる。そこがしわに見える。）

木は平刀、金属は三角刀、皮膚は丸刀など、彫るところによって、刀を変える。

境界線は必ず残す。

版画は、いかに彫るかではなく、いかに残すかが大事。

刷るときはインクを十分にのばし、刷った後の黒の部分に、うっすら版木の木目が残っているのがインクの濃さの目安。

添付ファイル

